



学校だより

令和8年6月30日
横浜市立上白根小学校
【特別号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



日々努力

校長 小嶋 一喜

6月26日に全校で応援したサッカー日本代表が、本日、決勝トーナメントの初戦を戦いました。相手は、サッカー王国のブラジル。多くの国民がサッカーを愛し、親しみ、試合がある時間には公的な機関がお休みになる過去に5回優勝をしている強豪国です。

前半が始まり、相手のブラジルの選手が攻撃をする場面が多く、ゴールになりそうなシュートをキーパーの鈴木選手を中心に防いでいました。

しかし、佐野海舟選手が相手のパスを読み、得意な形で先制ゴールを挙げました。スローモーションで試合を振り返ると、相手が攻撃をしてきたので、日本の選手が後ろに下がって守ろうとする中、タイミングを計り、一人だけ逆の動きをして、相手のパスをカットし、得点へとつなげていました。佐野選手が理想の形として、事前にイメージしていたプレーでした。



後半に入り、守る時間が多くなった日本代表。みんなで相手の得点を防いでいましたが、途中で同点に、そして後半終了間際に逆転のゴールを許し、1-2で惜しくも敗戦となりました。



試合後のインタビューで得点を挙げた佐野選手は、「つみかさねてきたものは、しっかり誇りをもっていい」「自分の得点よりチームの結果がすべて」と、くやしそうに述べていました。

4年毎に行われるこのサッカーワールドカップに向けて、日々努力をつみ重ねてきたものへの価値が感じられる言葉でした。同時に、日々の努力でも超えられない世界の壁があることを感じました。

次のワールドカップに向けて、「さらなる個のレベルアップが必要」と語る選手や元選手が多くいました。きっと今日から我々には想像もできないような日々の努力を、24時間365日していくのだらうと思います。

上白根小学校の子どもたちも、選手のみなさん、監督・スタッフのみなさん、応援のみなさんから様々なことを学ばせてもらいました。ありがとうございました。